

第12回 ぐるっと緑道・遊歩道 研究会

日 時 平成20年11月15日 (土)

午前10:00～午後12:00

会 場 中川西地区センター 2階 和室

議 題

主題:歩行者空間のための白線引きとカラー化の効果とその調査他

1. 前回の議事の確認 吉野副会長
- 2 歩行者空間のための白線引きとカラー化工事の経過報告
- 3 「道路空間におけるカラーベルト事業の効果」中間報告
武蔵工業大学 室田研究室
- 4 横浜トヨペット側の歩行者空間拡張について
横浜トヨペットとの協議経過
工事の検討結果について 都筑土木事務所
- 5 今後の活動予定
 - 1) 室田研究室
「道路空間におけるカラーベルト事業の効果」の最終報告と
アンケート調査の結果について
 - 2) 第2回 シンポジウムの開催
 - 3) 他の歩道、遊歩道へ
- 6 その他



第4号 平成20年10月25日(土)
横浜市地域まちづくりグループ ぐるっと緑道・遊歩道研究会 発行

中川駅前商業地区の安全な道路研究会のおさそい

(これまでの経緯)

- ・第10回ぐるっと緑道・遊歩道研究会(7月12日(土))では、中川駅前を利用する歩行者に道路を安全に通行して頂くため、道路に白線を引くなどの歩行者空間をつくる方法について検討しました。
- ・8月18日(月)には、都筑土木事務所によって白線工事が行われました。

(ヤマダ電気と横浜トヨベットの間の車道)

- ①従来の道路
- ②白線が引かれ歩行者空間ができました。(西側幅約1.5m)



- ・第11回研究会(9月7日(日))では白線の効果について、小学校のスクールゾーン対策協議会の見解も含せて意見交換しました。
- ・次回(第12回、下記参照)の研究会では、白線工事の前と後の交通状況調査の中間報告と、今後の改善案について検討します。町内会、自治会、商店、学校、住民等の皆様の参加をお願い致します。なお、今後アンケートの配布を予定しています。その際もご協力お願い致します。

(第12回研究会概要)

日時：平成20年11月15日(土) 午前10時から12時
場所：中川西地区センター(電話045-912-6973) 2階 和室
内容：中川駅前商業地区の歩行者に安全な道路改善案の検討
①白線を引いた後の交通状況の調査結果(中間報告)
②今後の改善案の検討
主催：ぐるっと緑道・遊歩道研究会
参加者：地域計画研究所 まちづくりコーディネーター 内海 宏 氏
武蔵工業大学 環境情報学部准教授 室田 昌子 氏
中川駅前商業地区振興会会長 大久保信正 氏
横浜市：都筑土木事務所、都筑区政推進課、地域まちづくり課 ご担当者

(実施経過と今度の予定)

(1)第1ステップ

8月18日(月)、都筑土木事務所は、横浜トヨベットの側路幅に1.5m、反対側に0.3mの白線を引き、歩行者空間を作ることに、歩車分離を図りました。



歩行者の通行の様子



車のすれ違い時

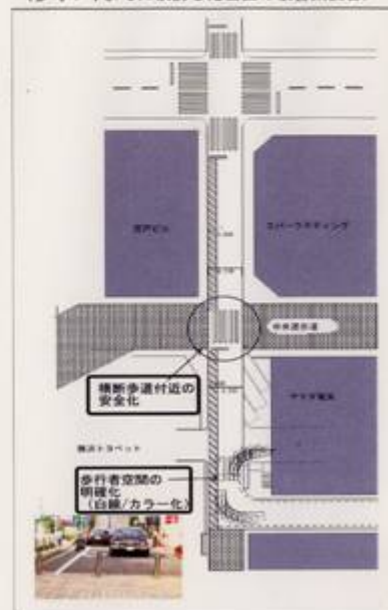


駐車場からの右折時



展示場に入る大型車

(参考：今までに検討した当面の改善案要旨)



白線工事の前後で武蔵工業大学研究室が、ビデオ撮影による交通状況調査を実施しました。

- ・8月10日(水)：事前交通状況調査
- ・8月31日(日)、9月1日(月)：白線工事後の交通状況調査と効果の検証

(2)第2ステップ

- ・都筑土木事務所は、10月中に白線内側のカラー化工事を行います。
- ・その後、武蔵工業大学研究室による再度の交通状況調査(11月初旬実施予定)を行い、併せて中川駅前地区の交通安全に関する(2種類)のアンケートの配布も予定しています。

*** **
インターネットのホームページで<ぐるっと緑道>を
検索してください。

白線工事による効果



白線工事後も問題(双方向通行)



ヤマダ電機出入りの問題



曲がり角の問題



トヨペントへの出入りと安全地帯



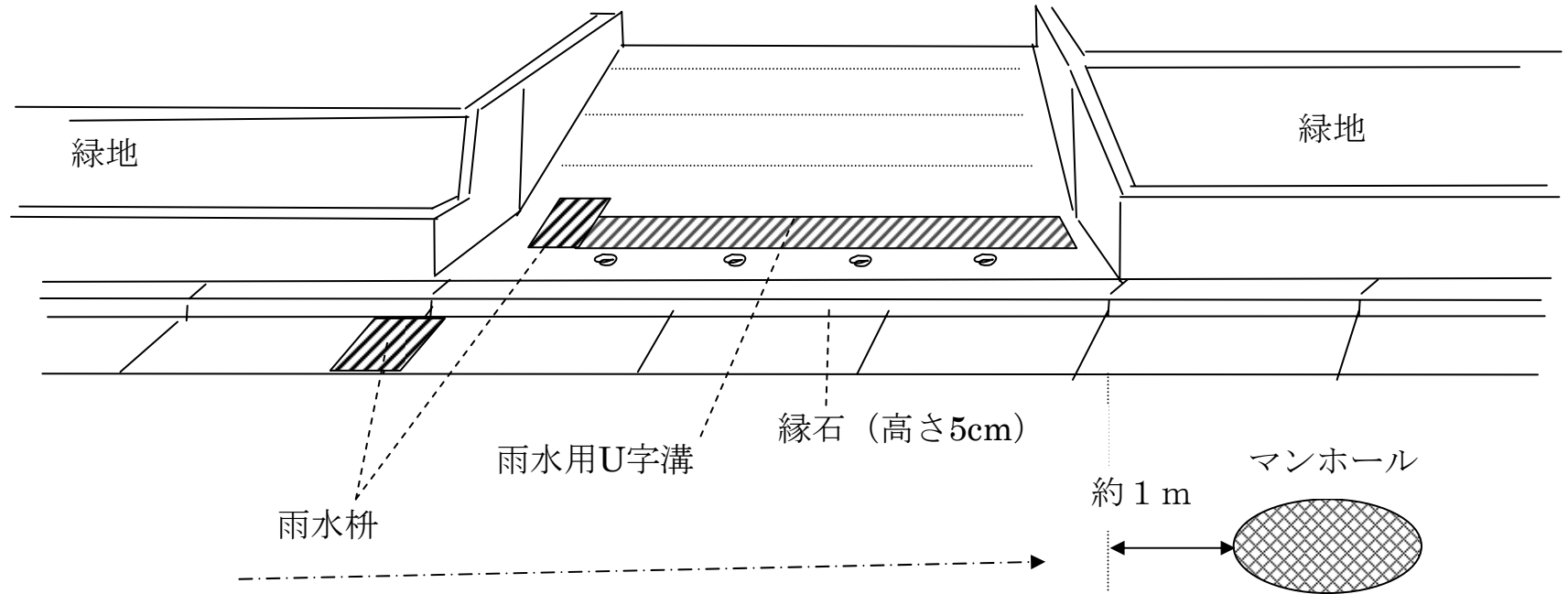
カラー舗装の効果



カラー舗装後の問題



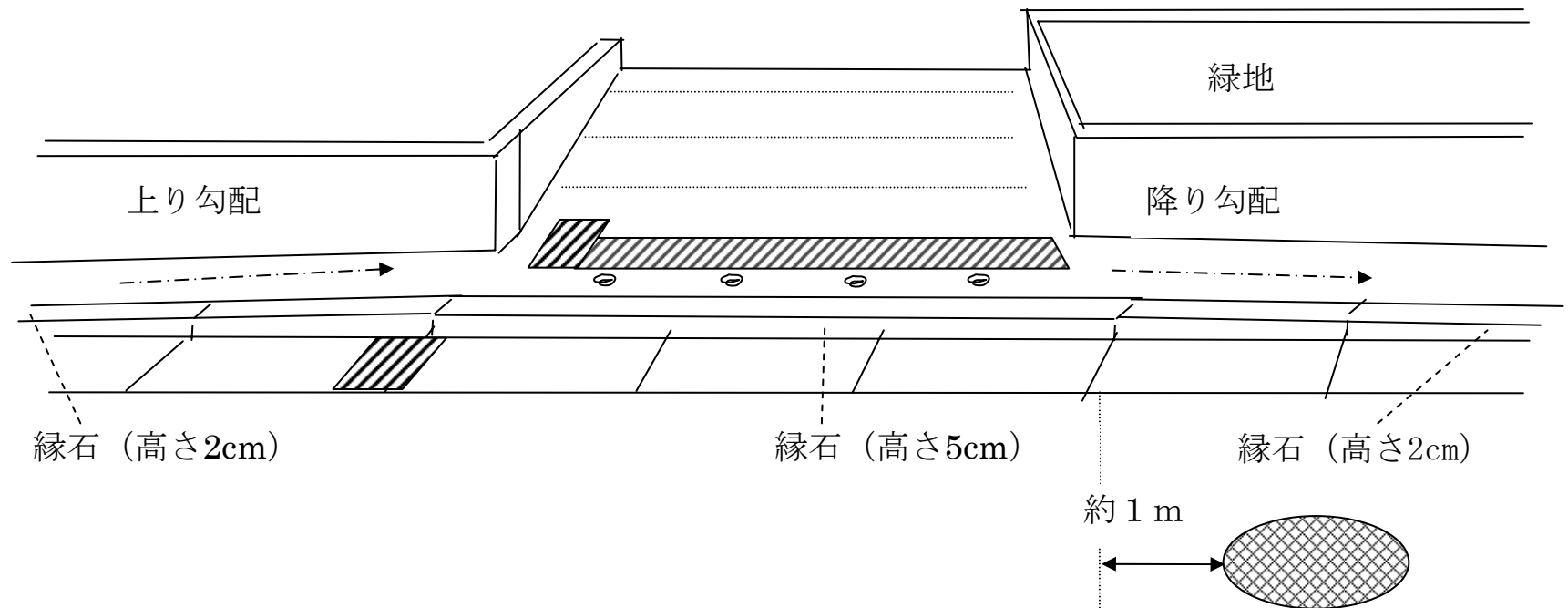
スロープの現況概観



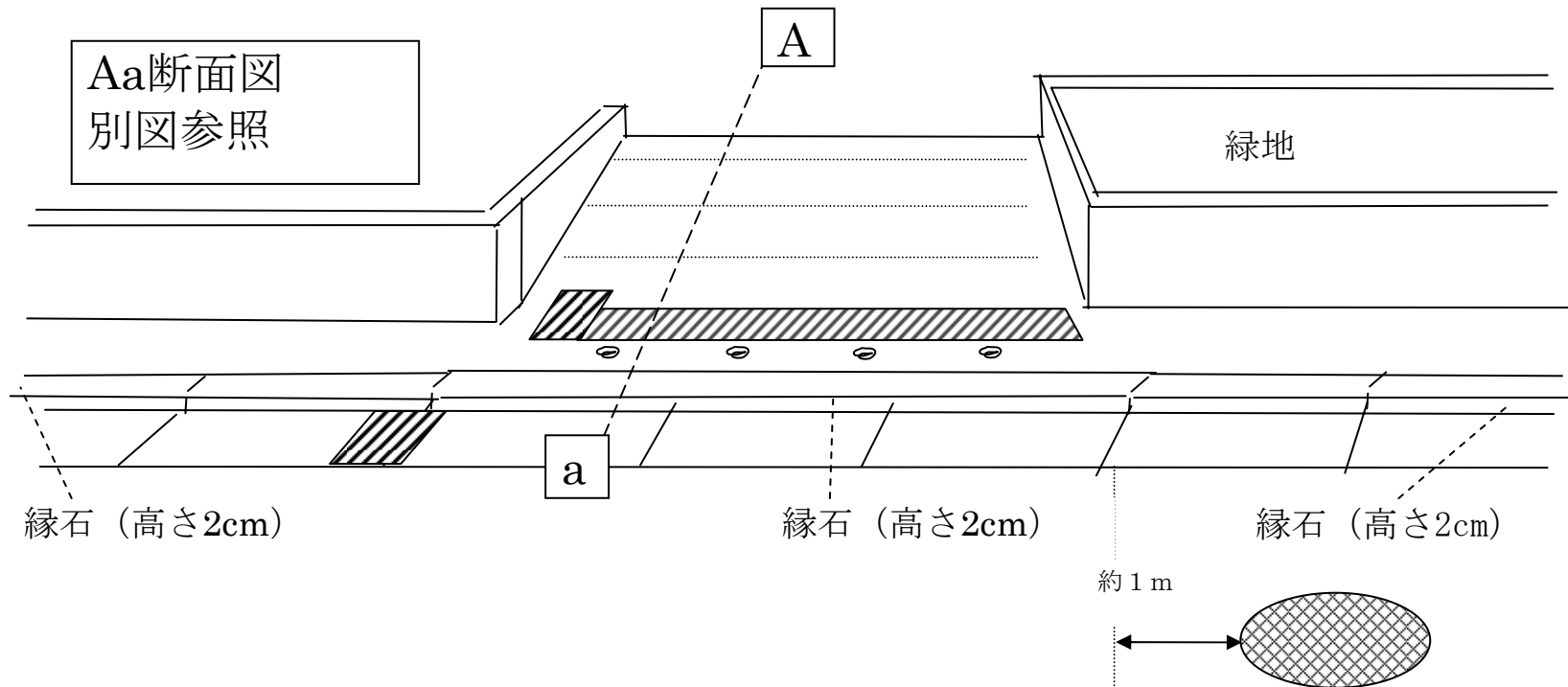
道路は左から右へ 昇り勾配約3%

トヨペットの出入り口（ヤマダ電機側）

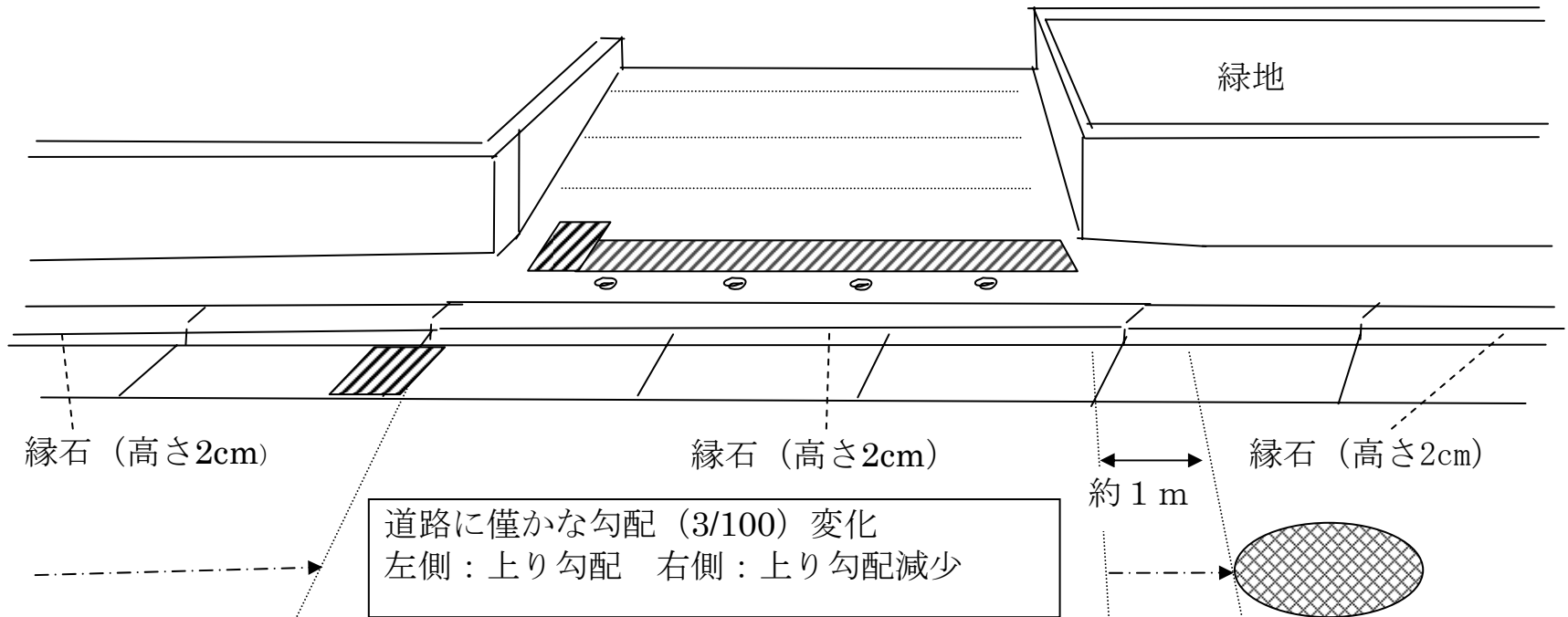
参考① スロープ部分はそのままにして両側を工事する案(両側と滑らかに接続)



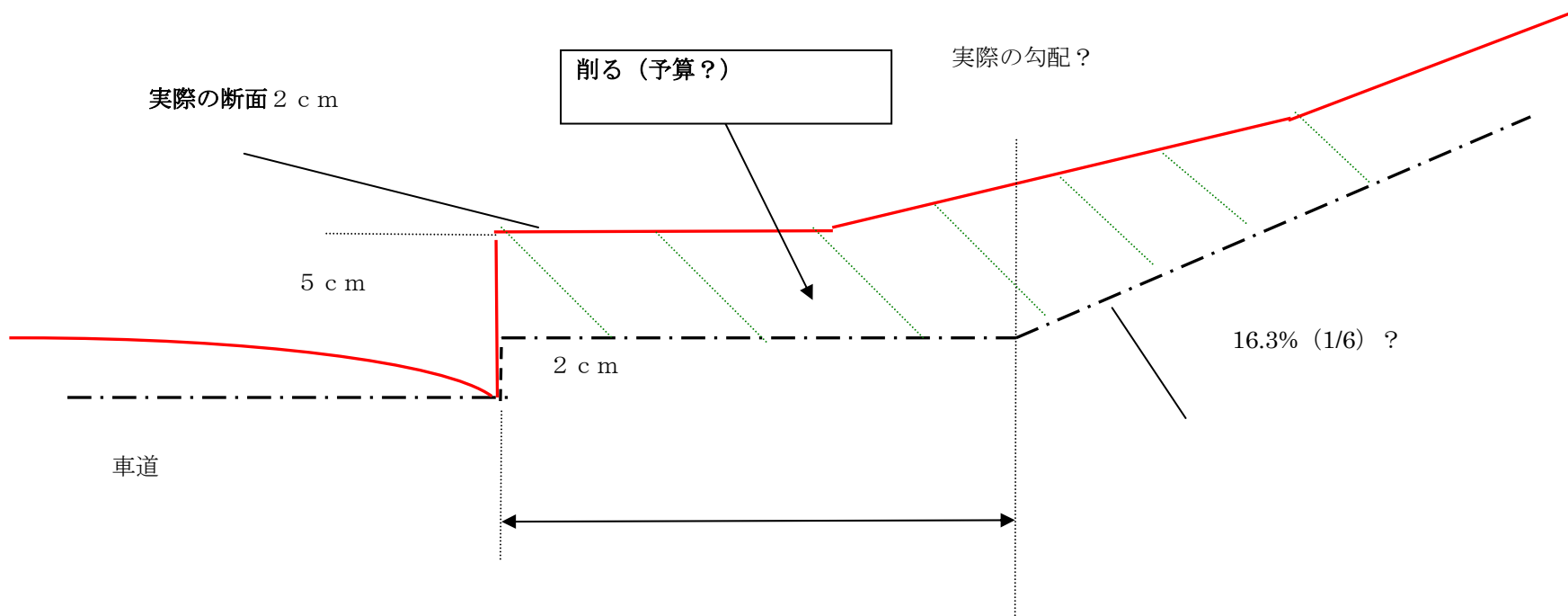
参考② スロープ部分も2cmまで下げる案 (予算、平坦にできる通路幅との兼ね合い)

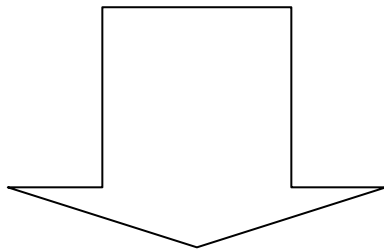


参考③ スロープ部分の車道を3cm嵩上げ (予算との兼ね合い)



参考②Aa断面図 トヨペット ヤマダ電機側ス ロープ断面改修イメージ





滑らかに接続 (どの勾配をとるか?)
平坦にできるWの幅との兼ね合い

